



## 全テーマ共通の基盤活動

GRI 102-15

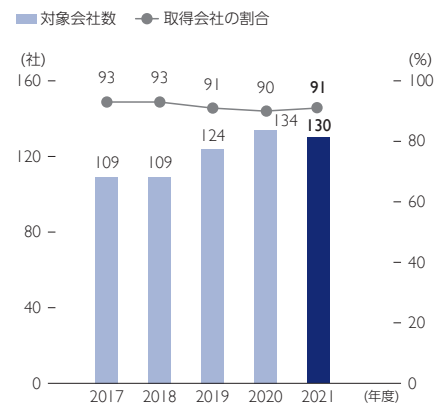
環境マネジメントシステムの高度化をめざし、持続的に発展できるように活動を進めています。国内外のアイシン連結会社全体でパワーアップしていくために、ISOの取得、また教育を実施しています。

### ISO取得率

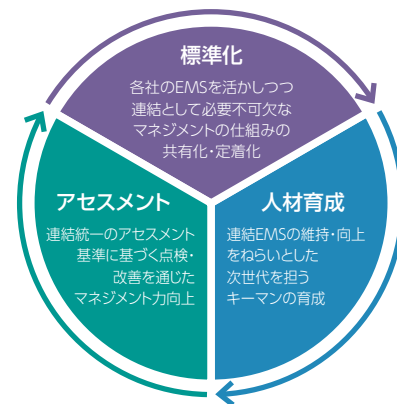
環境のトップランナーをめざす上で、EMSの継続的な改善を推進しています。国際規格ISO14001の取得だけでなく、さらに厳しいマネジメントレベルをグループ独自の目標として活動しています。

また、グループ全体の環境マネジメントを柱に推進するEMS研究会では、次の3つの活動を柱に推進しています。

ISO14001認証取得会社数/取得割合



EMS研究会 活動の3本柱



### グループグローバル・サプライヤーに向けた教育の実施

環境データの信頼度向上に向け、生産機能を持つ約140社を対象に、環境データ管理システムの再教育を行いました。実績入力・納期遵守の重要性を改めて伝えることでより正確な環境データ収集につなげています。

また、アイシンの主要サプライヤーの有志団体である「つばさ会」に向け、環境教育を毎年実施しています。2021年度は廃棄物管理をテーマに約100社の仕入先へ教育を実施。法順守徹底を周知し、サプライヤーでの環境異常ゼロをめざしています。

### 化学物質管理システムの再構築

2021年4月の旧アイシン精機と旧アイシン・エイ・ダブリュの統合において、化学物質管理における法順守ワークフローを統一することを目的に、システムの再構築を2020年より検討し始めました。ここでは、会社の環境法順守体制の入口管理を強化することを目的に環境影響評価と化学物質審査を結びつけることによって、EMSが円滑に回るような仕組みを作り直しています。新システムは両社のいいとこどりをし、化学物質管理をしていくために2022年4月から正式運用しています。

### 中国地区仕入先点検の実施

安全環境の法規制強化による生産停止リスクを低減するため、2019年度より仕入先安全環境点検の活動を推進しています。2021年度は47社に対し、現場訪問点検、またWEB点検を実施しました。